

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立第四中学校）

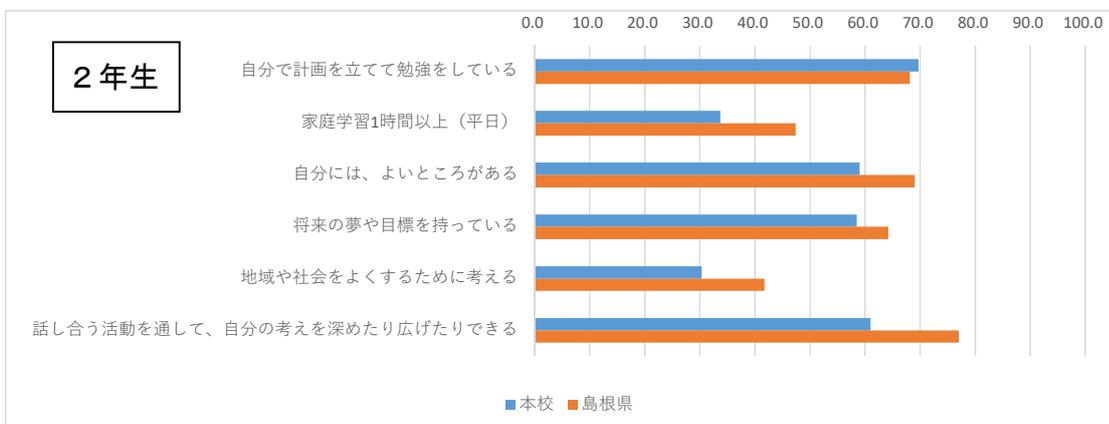
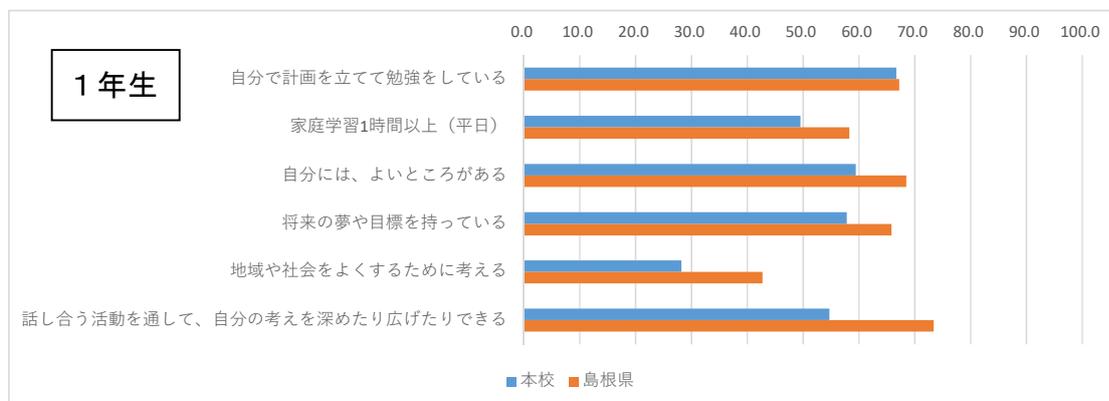
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

| | | | |
|------------------|---|------------------|---|
| 1 年 国 語 | ○文章の内容を読み取る設問については、文学的文章、説明的文章ともに目標値を上回っており、読み取る力が定着してきたと考えられる。 ●書く力を問う設問では目標値を大きく下回っていたため、分量やテーマに沿って書く練習を継続的にしていく必要がある。 | 2 年 国 語 | ○文法・語句に関する能力は身に付いている。 ●記述問題の無回答率が高く、情報を読み取る力や文章を書く力の不足が考えられる。書く機会を増やすとともに、資料から情報を読み取り、書くような授業を多く設定する必要がある。 |
| 1 年 数 学 | ○合計正答率は目標値を超えている。特に基礎の力が上回っており、基本的な知識や技能は身に付いていると考えられる。 ●活用については大幅に下回っており、特に方程式・関数の応用問題を解く力の不足が考えられ、文章を読んで必要な情報を読み取っていく練習を継続していく必要がある。 | 2 年 数 学 | ○昨年度より基礎の力が伸び、合計正答率が県平均を上回った。朝学習等の取組の成果が少しずつ出てきているように考える。 ●説明や証明の設問では正答率が低いため、情報を整理する力や具現化・抽象化する力などの数学的思考力を付けていく必要がある。 |
| 1 年 英 語 | ○英文を聞き取る力、英文の内容を読み取る力は付いてきている。 ●文の語順を理解し、正確に書く力、テーマに沿って表現する力を付けていく必要がある。 | 2 年 英 語 | ○一問一答形式の英文を聞き取ったり、読み取ったりする力が定着しつつある。 ●まとまった英文を理解したり、基本文を活用して正しく英文を書く力は継続して育てる必要がある。 |

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

| | | | |
|--------|--|--------|--|
| 1 年 | ○話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる割合が、昨年度36%程度から今年度54%へと大きく改善しており、学びあいの学習形態が定着しつつある。 ●平日1日あたり携帯電話やスマートフォンを2時間以上使用する割合は38.6%、その内4時間以上が12.0%と改善傾向がみられるが、家庭学習の時間の改善には至らず引き続き指導が必要である。 | 2 年 | ○家庭での学習環境を整え、計画的に学習に取り組もうと努力している。 ○学校ではまきまりを守り、よりよい学校生活を送るようにしている。 ●ニュースから情報を得ようとしているが、今後は新聞や図書などの活字から積極的に学ぼうとする姿勢を育てていく必要がある。 |
|--------|--|--------|--|

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 198名 2年生 194名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。